



初戦 湧永はトヨタ東日本、メイプルはソニー

38回目を迎える日本リーグはまず女子が31日開幕。男子は1週遅れの9月7日に始まる。
 湧永製薬は16年ぶり、メイプルレッズは9年ぶりの頂点を目指す広島勢。湧永は全日本社会人選手権直前に韓国遠征、社会人や学生の強豪とタフな戦いで戦力の底上げを図った。
 メイプルレッズは大教大などと国内で強化試合をこなし、全日本社会人では3位と好結果を残した。
 とともに初戦はホームで、湧永製薬は9月7日にトヨタ自動車東日本、メイプルレッズは31日にソニーセミコンダクタとそれぞれ中区SCで対戦する。
 男子は昨シーズンと同じ9チーム、女子は飛騨高山が加わり7チーム。男子は2回戦総当たり、女子は3回戦総当たりリーグ。男女とも4位までがプレーオフに進む。

日本リーグ 31日開幕

カザフスタン代表と戦う女子日本代表

第18回ヒロシマ国際大会

日本代表 地力



湧永・メイプルともに2位

V奪回を目指す精鋭

■湧永製薬メンバー■

No	Pos	選手名	身長 ^{cm}	体重 ^{kg}	出身校
1	GK	志水 孝行	186	93	大体大
3	P	木村 雅俊	189	100	筑波大
4	LW	坂本 伸博	170	70	大体大
5	LB	成田 幸平	191	90	大体大
6	RW※	野村 浩輝	170	70	中京大
7	LB	東江 太輝	180	74	日体大
9	CB	佐藤 智仁	181	81	名城大
11	CB	樋口 睦	181	83	筑波大
12	GK※	伊藤浩 浩太郎	188	81	名城大
13	RW	新 建二	172	72	大体大
14	LB	仁平 昌利	187	91	早大
15	P◎	今井 昭仁	190	92	福岡大
16	GK	松村 昌幸	188	88	福岡大
18	CB	中浦 成崇	183	85	大体大
20	RB※	小川 航世	186	72	日体大

■広島メイプルレッズ■

No	Pos	選手名	身長 ^{cm}	体重 ^{kg}	出身校
2	LB	増田 寛那	175	66	大教大
3	RW	高橋 佑奈	157	56	日体大
4	P◎	河田 早紀	167	60	大体大
5	CB	大前 典子	158	58	四天王寺高
6	RB※	木村 あい	168	63	環太平洋大
7	LB	宋 海林	167	67	韓国カガ高
8	P	塩見 綾香	172	68	大体大
9	CB※	山口 彩	160	60	富士大
11	LW※	石田 紗貴	155	50	富士大
12	GK※	林 あすみ	170	70	東海大
13	LW	安斎 千尋	156	55	東女体大
14	P	塩田真奈美	172	68	東海大
15	P	高山 智恵	167	68	四天王寺高
16	GK	田口 舞	168	63	筑波大
17	CB※	加須屋朝緋	163	58	筑波大

(注) ◎は主将、※は新人

1994年の広島アジア大会のメモリアル大会として翌95年からスタートし、今年で18回目を迎えたヒロシマ国際大会は7月26日から3日間、広島市東区スポーツセンターで開かれた。

今回は男女のカザフスタン代表、中国から女子の江蘇省が参加。男女の日本代表、地元から男子の湧永製薬、女子の広島メイプルレッズが加わり、1回戦総当たりリーグで行われた。

優勝は男女とも日本代表。男子の湧永製薬、女子のメイプルレッズがともに2位になった。湧永製薬の成田幸平、メイプルレッズの増田寛那が日本代表でプレーし、メイプルレッズの呉成玉監督が「今大会限定」背番号10のユニフォームでコートに立った。

《ヒロシマ国際大会 成績》

【男子】

▽リーグ戦

日本代表35(17-5, 18-15) 20湧永製薬
 湧永製薬40(20-11, 20-14) 25カザフスタン代表
 日本代表40(21-7, 19-12) 19カザフスタン代表
 *順位 ①日本代表2勝②湧永製薬1勝1敗③カザフスタン代表2敗

【女子】

江蘇省(中国)24(11-10, 13-6) 16カザフスタン代表
 日本代表30(14-11, 16-17) 28メイプルレッズ
 日本代表29(19-8, 10-10) 18江蘇省
 メイプルレッズ22(12-11, 10-10) 21カザフスタン代表
 メイプルレッズ30(15-15, 15-14) 29江蘇省
 日本代表39(25-8, 14-15) 23カザフスタン代表
 *順位 ①日本代表3勝②メイプルレッズ2勝1敗③江蘇省1勝2敗④カザフスタン代表3敗

■表彰選手■

男子	最優秀選手	女子
小澤 広太(日本代表)	高橋 恵(日本代表)	ソニー
久保 侑生(日本代表)	優秀選手	石立真悠子(日本代表)
野村 浩輝(湧永製薬)	大同特殊鋼	オムロン
シャンドス(カザフスタン代表)		大前 典子(メイプル)
		チウ・ジャチン(江蘇省)
		キシニア(カザフスタン代表)

最優秀選手に小澤・高橋

優秀選手 湧永は野村 メイプル大前



試合終了後、市内のホテルで行われたフェアウェル・パーティーの席上、表彰選手が発表され、最優秀選手に男子は小澤広太(大崎電気)女子は高橋恵(ソニーセミコンダクタ)のいずれも日本代表選手が選ばれ、優秀選手には湧永製薬から新人の野村浩輝、広島メイプルレッズから大前典子が選出された。

メイプル2連覇逃す

全日本社会人

三重下し3位



準決勝の北国銀行戦で攻めるメイプルレッズ

《湧永製薬 韓国遠征成績》

- 27 (14-10, 13-8) 18慶熙大
- 28 (17-8, 11-16) 24忠南道庁
- 27 (11-12, 16-17) 29HCコロサ
- 16 (4-12, 12-18) 30仁川都市公社
- 26 (14-12, 12-12) 24韓国体大
- 21 (12-12, 9-16) 28斗山
- 18 (11-12, 7-16) 28斗山
- 21 (13-12, 8-10) 22HCコロサ

湧永製薬は2013シーズン開幕を控え、6月23日から6日間、韓国遠征を行い、8試合をこなした。

社会人や学生界の強豪と対戦した。大学勢には2試合とも白星を挙げたが、実業団で“2強”の実力派と言われるHCコロサ、斗山にはそれぞれ2戦とも黒星だった。最終戦となったHCコロサの2戦目は前半1点のリードをしたが、逆転された。

社会人の強豪は
やはり強かった
湧永韓国遠征 3勝5敗

《県中学校選手権 成績》

【男子】

▽1回戦

- 昭和北30 (15-3, 15-4) 7誠之
- 修道31 (17-11, 14-8) 19呉中央
- 片山37 (22-4, 15-4) 8昭和

▽準決勝

- 甲田46 (20-5, 26-8) 13昭和北
- 片山30 (13-8, 17-8) 16修道

▽決勝

- 甲田37 (18-14, 19-17) 31片山

【女子】

▽1回戦

- 昭和25 (9-0, 16-0) 0己斐
- 昭和北25 (14-3, 11-4) 7誠之

▽準決勝

- 甲田39 (25-0, 14-8) 8昭和
- 亀山42 (21-4, 21-3) 7昭和北

▽決勝

- 甲田27 (9-9, 18-8) 17亀山

県中学校選手権

第42回県中学校選手権は7月13、14の両日、呉オークアリーナで行われ、甲田が3年連続9度目の男女優勝を飾った。8月3、4日に鳥取県境港市民体育館での中国中学校選手権に出場する。

男子の決勝は甲田と片山の顔合わせとなった。前半4点リードを許した片山が後半追い上げ試合が盛り上がったが、実力にまさる甲田が6点差をつけて5年連続10度目の栄冠をつかんだ。

女子は予想通り甲田と亀山の「2強対決」となった。前半は互いに譲らない接戦となった。しかし、後半になると甲田が持ち前の攻撃力で亀山を圧倒、10点差をつけた。甲田は3年連続18度目の優勝。

東京国体出場を争う中国地区大会（ミニ国体）は成年男女と少年女子が17、18日、少年男子が31日と9月1日にいずれも麒麟ビレッジ周南総合スポーツセンターで開かれる。

県代表は成年男子が湧永製薬、成年女子は広島メイプルレッズが単独出場する。

少年男女は選抜で出場権獲得を目指す。少年男子はインターハイ出場の呉工から6人、広3人、修道と向原から各2人、呉港1人。女子は山陽が8人、清水ヶ丘3人、賀茂2人、桜ヶ丘1人の各14人をエントリーした。

17日からミニ国体
少年男子は31日から

湧永5位 決勝リーグに進めず

《全日本社会人選手権 成績》＝広島関係分

■湧永製薬

▽予選トーナメント1回戦

- 44 (25-6, 19-11) 17トヨタ自動車

▽同2回戦

- 29 (15-13, 14-17) 30豊田合成

▽5-8位決定戦

- 34 (19-14, 15-13) 27トヨタ自動車東日本

▽5、6位決定戦

- 34 (15-11, 19-13) 24トヨタ紡織九州

■メイプルレッズ

▽予選リーグA組

- 31 (15-12, 16-9) 21三重パイトワックス
- ▽21 (10-12, 11-9) 21ソニーセミコンダクタ

*順位 ①1勝1分け

▽準決勝

- 27 (11-14, 16-18) 32北国銀行

▽3位決定戦

- 24 (13-11, 11-7) 18三重パイトワックス

宋海林がベスト7

全日本社会人選手権は7月3日から麒麟ビレッジ周南総合スポーツセンターで開かれ、2連覇を狙ったメイプルレッズは準決勝で北国銀行に敗れ3位。

湧永製薬は予選トーナメント2回戦で豊田合成に逆転負け。順位決定戦でトヨタ自動車東日本、トヨタ紡織九州に連勝、5位となった。

優勝は男子が大同特殊鋼で2年ぶり17度目、女子はオムロンで4年ぶり9度目。メイプルレッズ宋海林が3年連続ベストセブンに選ばれた。

呉高専、予選リーグ敗退 中国高専大会

中国高専大会は7月6、7日に鳥取県境港市民体育館で開かれた。呉高専は予選リーグA組2戦2敗で3位となり敗退、決勝トーナメントに進めなかった。徳山高専は2連覇。

《中国高専大会 成績》

▽予選リーグA組

- 徳山18 (10-7, 8-3) 10宇部
- 宇部26 (15-4, 11-2) 6呉
- 徳山34 (21-3, 13-2) 5呉

*順位 ①徳山2勝②宇部1勝1敗③呉2敗

▽予選リーグB組

- 米子22 (15-1, 7-1) 2松江
- 津山15 (6-1, 9-4) 5松江
- 米子17 (9-6, 8-7) 13津山

*順位 ①米子2勝②津山1勝1敗③松江2敗

▽準決勝

- 徳山24 (12-4, 12-9) 13富山
- 米子20 (12-6, 8-7) 13宇部

▽決勝

- 徳山25 (11-8, 14-4) 12米子

AWCは11位 全国クラブ選手権西地区

全国クラブ選手権西地区大会は7月6、7日に鹿児島県霧島市国分体育館などで開かれ、中国地区代表のAWCは予選リーグD組で2戦2敗の3位となり、9-11位決定戦でも敗れ、11位だった。

成績は次の通り。

- ▽予選リーグD組 ●17 (11-12, 6-12)

- 24FHC (福岡)、●19 (11-9, 8-13) 2

2ホンダ熊本

- ▽9-11位決定戦 ●20 (8-13, 12-9) 22

- G・family (鹿児島)

優勝は男子がFHC (福岡) 女子が徳山クラブだった。

他の中国地区代表は男子のSFIDAが2位、総社クラブが3位、女子の岡山クラブは11位。

■お願い■ 「ひろしまハンドボール」は今回で第107号を迎えました。これもひとえに関係者皆様方のご協力があったることと感謝しております。いっそうの充実を図るためには、情報の提供は欠かせません。なんでも結構です。皆様からのご意見、ご要望を含めどしどしお寄せいただきますようお願い致します